

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ストレプトゾシン 連日
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	膵・消化管神経内分泌腫瘍
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NET-1
登録日・更新日	2015年11月24日
削除日	
出典	ザノサー点滴静注用1g添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ザノサー点滴静注用	1g	500mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	1時間	day1~5
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	42日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( 日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<p>休業基準 好中球数減少 500/mm<sup>3</sup>未満の場合、1,500/mm<sup>3</sup>以上に回復するまで休業する。 発熱性好中球減少症 Grade3の場合、回復するまで休業する。 血小板数減少 5万/mm<sup>3</sup>未満の場合、10万/mm<sup>3</sup>以上に回復するまで休業する。 非血液毒性(肝転移を有する患者では、γ-GTPを除く) Grade3の場合、Grade2以下に回復するまで休業する。 血清クレアチニン上昇 施設基準値の1.5倍を超える場合、1.5倍以下に回復するまで休業する。</p> <p>中止基準 発熱性好中球減少症度 1)Grade4が発現した場合 2)Grade3の発現後に回復し、投与再開後、再度Grade3以上が発現した場合 血小板数減少 5万/mm<sup>3</sup>未満となった後に回復し、投与再開後、再度5万/mm<sup>3</sup>未満になった場合 非血液毒性(肝転移を有する患者では、γ-GTPを除く) Grade4 腎障害 重篤な腎障害が発現した場合 糖尿病 コントロールできない糖尿病が発現した場合</p>
前投薬	アプレピタント+グラニセトロン3mg+デキサメタゾンNa
その他の注意事項	投与前、1,000~2,000mLの適当な輸液を4時間以上かけて投与する。 (外来では、投与前に1,500mLの適当な輸液を3時間で投与することを可とする)

記入者	安室 修
確認者	大山 優